

とよかわ市民協働基本方針実施計画 その他事業一覧

番号	事業名 (主管課等)	協働先	協働形態	事業目的・実施内容	課題や今後の方針	自己評価	自己評価の理由
(例)	集まれ！ボランティア・市民活動まつり (市民協働国際課)	NPO 法人 ボランティアコーディネート の会	事業共催	市民活動団体のコーディネートに専門的に取り組んでいる NPO 法人と共催して、市民にボランティアや市民活動に興味をもってもらい、活動への理解や参加を促すために、「集まれ！ボランティア・市民活動まつり」と題して、イベントを開催しました。 開催日：8月 4 日（日曜） 参加者：2,000 名	参加者、団体、共催相手のいずれからも良い評価を得たので今後も継続して開催する予定。しかし、大変多くの参加者で賑わったが、出展に協力してくれる団体が予定よりも少なかった。団体への参加をより一層促すとともに、団体から日程への要望が多くあったためその点についても検討し 1 団体でも多く参加してもらえるように改善を図りたい。  ※記入にあたっては、担当課の意見だけでなく、協働相手の意見も反映するように心掛けてください。 協働事業が終了したら、必ず振り返りの場を持ちましょう。協働相手と同じテーブルについて、事業の成果やプロセスを振り返り、その結果を次の事業に生かすことが大事です。 振り返りにあたっては、参考資料「協働事業 振り返りシート」を利用すると活発な意見交換ができると思います。	4	初めての開催にも関わらず、多くの人に参加してもらえたことを高く評価した。 当日実施した参加者アンケートでも良い評価を多くいただき、事業目的が達成されている。 ただし、協働相手との打合せが不十分で、当日の進行に行き違いがあり、一部参加者に迷惑をかけた。
1	声の広報・点字広報「とよかわ」の発行 (秘書課)	こだまの会 あめんぼうの会 ほたるの会	事業協力	音訳ボランティア「こだまの会」が広報「とよかわ」を読み上げたものを CD やカセットテープに録音し、社会福祉協議会を通して視覚障害者の方へ提供。また、点訳ボランティア「あめんぼうの会」「ほたるの会」が広報「とよかわ」を点訳し、社会福祉協議会を通して視覚障害者の方へ提供。市は資材の提供と謝礼の支払いをしている。	点訳の協働先を変更し、音訳・点訳ともに安定したものを作成できている。 今後も、団体と市との情報交換を密に行っていく。	4	団体の協力により、視覚障害者にとって必要な情報を、必要に応じた形で提供することができた。団体と意見を密にし、改善にも取り組んでいた。市民からは、点訳の質が上がったとの評価もいただいた。

とよかわ市民協働基本方針実施計画 その他事業一覧

番号	事業名 (主管課等)	協働先	協働形態	事業目的・実施内容	課題や今後の方針	自己評価	自己評価の理由
2	読み聞かせ教室事業 (子ども課)	各地区読み聞かせボランティアグループ	事業協力	市内5地区の読み聞かせボランティアへの活動支援を行い、幼児から小学校低学年の児童を対象に地域のボランティアが絵本の読み聞かせや工作等を行う。	参加する児童や親子、ボランティアのいずれも有意義な時間を過ごしているため、今後も継続して開催する予定。しかし、年々参加する児童や親子が少なくなっていることと、参加児童が低年齢化していることが課題である。今後は、読み聞かせ教室の周知を広く行っていくことで、より多くの児童や親子に絵本の楽しさを伝えられるよう改善していく。	3	参加児童や親子の増加を課題としているが、10年以上継続して活動し、児童や親子が楽しく活動を行っていることを高く評価した。
3	ブックスタート事業 (子ども課)	個人	事業協力	赤ちゃんと保護者等が絵本を介して心が通じ合う温かい時間を持つてもらうため、保健センターでの4か月児健診時にボランティアが絵本の読み聞かせを行い、絵本等を手渡す。	参加する親子、ボランティア、保健センター職員のいずれも今後の事業継続を望んでいる。しかし、保健センターの健診の合間に読みきかせを行うため、限られた時間の中での読み聞かせとなることが課題である。今後も、ボランティアや保健師、栄養士と協力することで、絵本を介して、親子の心が通じ合う温かい時間をつくっていく。	4	1歳6か月健診時に実施したアンケートでは、9割近くの親が「今後も事業を続けてほしい」との評価をしており、事業目的が達成されている。
4	子育てサポート事業 (子ども課)	個人	事業協力	ボランティアの協力により、母親たちが安心して子育てできる、また子育てが楽しいものを感じられるよう育児支援を図り、保健センターでの2歳児歯科健診時にボランティアが手遊び、エプロンシアター、絵本の読み聞かせなどを行う。	参加する親子、ボランティア、保健センター職員のいずれからも、健診の待ち時間を親子で楽しむことができるとして、高い評価を得ている。しかし、なかには読み聞かせや手遊びへ積極的に参加せず、親子のコミュニケーションの場となっていない場面もわずかに見受けられるため、個別に声かけをする等して、子育ての楽しさを伝えていけるように努めたい。	3	手遊び、大型絵本の読み聞かせや腹話術など、ボランティアそれぞれの得意分野を活かして、親子で楽しめる時間をつくり出していることを高く評価した。 今後は、さらにボランティアが積極的に親子へ関わることで、子育ての楽しさを伝えていけると良い。
5	健康づくり事業 (保健センター)	健康づくり推進員	事業協力	推進員の活動を「増やす・つなぐ・広げる」とし、健康学習によって得た知識や情報を地域に発信し広げていく。	職員と活動の目的を共有することで、市民の代表として推進員が主体的に意見を出せるよう働きかける。	4	推進員活動は市民へ広く啓発するのに大きな役割を果たしている。毎年新規の推進員登録がある。H27年度の活動者は全体の62%となっており、今後も活動が継続できるために、意見を事業に反映したり、やりがいを持てるよう支援していくことが重要である。課題としては活動者の固定化があるので、活動のしやすさ、働きかけ、役割などの工夫を図っていく。

とよかわ市民協働基本方針実施計画 その他事業一覧

番号	事業名 (主管課等)	協働先	協働形態	事業目的・実施内容	課題や今後の方針	自己評価	自己評価の理由
6	音羽文化ホール（ワインディアホール）せせらぎタイム（文化振興課）	ワインディアホールせせらぎ	両主催	音楽文化の振興と裾野拡張、とりわけ演奏者と観客の育成を目的とし、気軽に楽しめるコンサートを実施している。 ボランティア団体が独自に企画運営する形でロビーコンサートを定期的に開催する。飲み物・菓子を提供するティータイムコンサートで、様々な楽器や編成を紹介している。 月に1度開催	スタッフの高齢化が課題。	4	150回を超える継続性を保っており、地域に根ざした活動となっている。
7	御津文化会館（ハートフルホール）あったかハートのコンサート（文化振興課）	あったかハートのコンサート実行員会	両主催	気軽に聴くことのできるコンサートを実施することにより、生で聴く音楽の良さを広く知っていただき、地域の文化度を向上させることを目指す。 ボランティア組織と行政が協力し合って運営する形で2ヶ月に1度、ロビーコンサートを実施している。飲み物・菓子付きで、様々なジャンルの質の高い音楽を提供している。	コンサートを企画するセンスはよいので、モチベーションを多角維持しながら、楽しんで続けられるようサポートすることが必要。	4	夜間開催ながら、安定した集客力がある。企画が充実してきたことに加えて、自立性が高まっている。
8	小坂井文化会館（フロイデンホール）さわやか音楽祭（文化振興課）	さわやか音楽祭実行員会	事業協力	飲み物、お菓子付で気軽にいろいろなジャンルの音楽を楽しめるロビーコンサートを2ヶ月に1度実施する。	集客も安定しており、事業周知の努力が奏功していると思われる。引き続き、ボランティアの企画力を活かした活動を展開したい。	4	ボランティア主体の企画も定着してきたことに加えて、平日の昼間開催における集客力が増している。
9	豊川童謡祭り（文化振興課）	ふるさと童謡の会	事業共催	愛知万博を機に深まった童謡を歌い継ぐ活動を継続するため、童謡唱歌を含めた音楽に触れる機会を「童謡まつり」として開催し、子どもの情操教育や大人と子どもの交流を図ることを目指す。 平成26年10月25日開催（文化会館大ホール） 参加団体：16団体、参加・入場者：1,000名	活動も10年を越え、地域に定着してきたと思われる。助成については、その都度検討が必要だが、引き続き共催を含め協力していく。	3	例年と同様の参加者・入場者を集めることができ、事業目的は計画通り達成できたと考えられる。

とよかわ市民協働基本方針実施計画 その他事業一覧

番号	事業名 (主管課等)	協働先	協働形態	事業目的・実施内容	課題や今後の方針	自己評価	自己評価の理由
10	東三河演劇祭関連事業 (文化振興課)	東三河演劇祭実行委員会	両主催	数多くの演劇参加団体による本公演を協働で実施することで、単独ではできない規模の事業が実現するため、市と実行委員会が協働してその実施にあたる。	演劇を観るだけでなく参加することで、地域に演劇に対する関心を深めていると思われるが、より広い層への事業周知が必要である。	4	実行委員会が主体となって事業を企画展開することができている。
11	こどもミュージカルトウインクル (文化振興課)	こどもミュージカルトウインクル実行委員会	事業共催	平成14年に発足したこどもミュージカルトウインクルと岡崎音楽家協会および同所属の地元音楽演奏家との連携を通して相互の文化活動の充実を目指す。 月2回程度の練習を1年間実施 平成27年3月22日に第5回定期公演を開催（小坂井文化会館）入場者：約500名	こどもが主体のミュージカルを開催することで、地域の文化活動の充実につながっている。助成については、その都度検討が必要だが、引き続き共催を含め協力していく。	3	例年と同様の参加者・入場者を集めることができ、事業目的は計画通り達成できたと考えられる。
12	選挙に係る「声の広報」の発行 (行政課)	こだまの会	事業協力	音訳ボランティア「こだまの会」が選挙広報を読み上げたものをCDやカセットテープに録音し、社会福祉協議会と連携して視覚障害者の方へ提供。	対象者や対象者のニーズの把握をより適正に行い、市の選挙において引き続き実施する。	4	対象者にCDやカセットテープを提供できることにより、選挙啓発の目的を達成することができた。
13	有害鳥獣対策事業 (農務課)	地元団体	事業協力	地元農家が中心となり、地域住民が狩猟免許を取得し、組織を立ち上げ自ら農作物に被害を与える有害鳥獣の駆除を実施し、被害の低減を図る。	農家が「自分達の農作物は、自分達で守る！」という取組みだが、農家ではなく狩猟者が中心となっている組織があり、高齢化が進む中で、地域ぐるみという点を考慮すると、事業が継続されるか懸念される部分がある。今後の方針としては山裾だけではなく、被害のある平野部も含めて組織を立ち上げること。課題は、担い手を育成していくことと考えられる。	4	町内会長の依頼により駆除組織が活動を行うといった町内にも認められた活動となっている。現在、市内15か所に組織が設立され、山裾エリアはほぼ網羅されており、被害低減につながっている。
14	音羽川水質調査・水生生物調査 (環境課)	国府小学校コミュニティ推進委員会	事業協力	地縁団体（国府小学校区コミュニティ推進委員会）が実施する音羽川の水質調査・水生生物調査について、資材提供など事業協力をを行う。 開催日： 5月8日（金）水質調査研修会27人 8月16日（日）水生生物調査85人	国府小学校区コミュニティ推進委員会と、市が協働して音羽川の水質調査と、水生生物調査をすることで、活動が長期に渡り継続し、実際に水質も向上している。今後も同様に継続していく必要がある。	3	市が単独で実施するよりも、地域住民と協働で実施することにより、郷土愛も生まれ、活動も継続できている。

とよかわ市民協働基本方針実施計画 その他事業一覧

番号	事業名 (主管課等)	協働先	協働形態	事業目的・実施内容	課題や今後の方針	自己評価	自己評価の理由
15	河川愛護活動 (道路維持課)	地域の河川愛護団体	事業協力	市が管理する準用河川・普通河川の草刈及びゴミ除去等の清掃を実施する地域団体に対して、報償費を支払い、河川環境整備活動への支援を行う。	活動団体を増加させる工夫を必要とする。	4	参加者の環境美化に対する意識が高まった。
16	川と海のクリーン大作戦 (道路維持課)	個人	事業協力	イベント参加者による豊川の堤防など河川敷の清掃活動を行うことにより、豊川流域の環境美化を図る。	河川沿線以外の住民の関心が薄い。今後より一層の周知を必要とする。	4	参加者の環境美化に対する意識が高まった。
17	声の広報・点字広報「議会だより」の発行 (議会事務局)	音訳：こだまの会 点訳：6月、11月「ほたるの会」、8月、2月「あめんぼうの会」	事業協力	音訳ボランティア「こだまの会」が議会だより「とよかわ」を読み上げたものをCDやカセットテープに録音し、社会福祉協議会を通して視覚障害の方へ提供。また、点訳ボランティアが議会だより「とよかわ」を点訳し、社会福祉協議会を通して視覚障害の方へ提供。市はCDやカセットテープ等の資材を提供している。	音訳については、吹き込み媒体がCDとカセットテープがあり、資材も提供しているが、CDへの吹き込みが主流となりつつあるので、調整しながら資材提供の必要がある。 点訳については、協働先の変更により、出来上がりの質が向上した。今後も継続が必要と判断する。	3	音訳ボランティア、点訳ボランティアから特段の要望はなかったことと、議会だよりの音訳、点訳を必要としている人もいることから、計画どおりであり、今後も継続が必要と評価した。
18	三河国分尼寺史跡公園ボランティアガイド (生涯学習課)	個人	事業協力	三河国分尼寺史跡公園ボランティアガイドによる、説明ガイド・イベント協力・美化作業などを行う。	H17の発足から、10年経過しているのでメンバーの高齢化が課題である。随時養成講座を開催しているので、今後も継続したい。	5	自主的に自己研鑽していただきしており、各自のガイドレベルも上がっていることから高く評価した。
19	学校サポーター事業 (教育委員会庶務課)	個人	事業協力	様々な知識・経験・技術などを持つ地域の人々に、サポーターとして学校を支援していただき、学校と地域が連携することにより、地域に愛され親しまれる学校づくりを推進することを目的に、各学校で希望するボランティア活動の内容に沿って支援をしていただける方を広報とよかわや市ホームページ等で募集し、学校サポーターとして登録していただいた方に、学校の環境整備や教育活動の支援を行ってもらう。	校区によってサポーターへの応募数に差があることから、学校の日や運動会など保護者や地域の方々が参加される行事の際にサポーター募集の周知を行うなど、より広く学校サポーター制度を周知する方法を模索していく。 また、愛知大学との連携・協働事業としてサポーター制度の学生への紹介、募集チラシの配布など行ったが今年度は登録者がいなかつため、募集内容を学生が参加しやすく、専門知識を活用できる活動とするなど、学生を受け入れるための見直しを行い、学校サポーター事業をより広い事業として推進する必要がある。	4	連携・協働を行っている大学からの登録はなかったものの、前年度と比較し、登録者が52名増加したこと、また、これまで学校サポーターを募集していても応募のなかった学校へのサポーターの登録があつたことを評価する。

とよかわ市民協働基本方針実施計画 その他事業一覧

番号	事業名 (主管課等)	協働先	協働形態	事業目的・実施内容	課題や今後の方針	自己評価	自己評価の理由
20	病院ボランティア (病院医事課)	ぼらたまの会、豊橋ユネスコ 協会及び個人	事業協力	地域に開かれた医療機関として、地域住民のボラ ンティア活動を通して「開かれた、さわやかな病 院づくり」を目指し、受診申込みの案内、外来診 療科への案内、体の不自由な方への介助、入院患 者の話し相手、小児科病棟等における読み聞かせ 並びに外来モールにおけるピアノ演奏など行っ てもらう。	病院ボランティアは、患者サービス向上に大き く貢献されているので、今後も病院ボランティ アの活動状況など掲示し、病院ボランティアの 募集を継続していくが、ボランティア登録者は 平成27年度末現在、5人と2団体とまだまだ 少ない。	4	平成27年度は外来案内等を行つ てもらうボランティアを新たに2 名登録し、患者サービスの向上に大 きく貢献できた。